

# **美しい郷土をつくる会 (西村久子稲枝地区後援会) だより**

**美しい郷土をつくる会  
(西村久子稲枝地区後援会) は和田裕行  
さんの政策を支持します。**

## **和田裕行(彦根市新海浜在住)さんの主な政策**

### **基本理念 子供にツケをまわさない！**

#### **1 雇用確保**

- ・直ちに雇用の確保に全力を注ぐ。
- ・産学官協同で起業家を育成する仕組みを整える。

#### **2 世界に売り込む**

- ・自らが「営業マン」となり、雇用と税収を生み出す企業誘致を実現する。
- ・「赤備」という彦根の歴史を発展継承し「赤」を彦根の新創造ブランドにして、地元産品を国内を問わず世界に売り込む。
- ・農業を彦根の重要な産業に位置づけ、農地を最大限活用する。
- ・彦根城を中心とした城下町の街並みや佐和山城趾、歴史ある宿場町、および、美しい琵琶湖という歴史文化遺産・自然遺産を活かし、近隣の観光地と連携しながら観光客を倍増すると同時に滞在型観光を目指す。
- ・荒神山周辺を新たな観光拠点にし、川瀬・稲枝地区の活性化を図る。

#### **3 「旧体制をぶっ潰す！行革断行！」**

- ・増税せず、4年以内に均衡財政を実現する。
- ・県下最低の財政状況を改善するため、人件費を民間の常識で抜本的に見直すと同時に、使い切り予算を削減する。
- ・民間公募や民間人登用制度等を導入し、民間の経営感覚や新しい着想を市政に取り入れる。
- ・情報公開と説明責任を徹底する。
- ・防災・防犯力など「地域の底力」が発揮できる共同体づくりを推進する。
- ・N P Oなど市民活動を活性化し、市の行政と協働推進する。

#### **4 「彦根独自の教育改革！」**

- ・全国42位の滋賀県でも最低レベルにある彦根の教育を抜本的に改革すべく、彦根独自の教育システムを構築する。
- ・「街の宝」である子どもたちの命を守るために、市内の公立小中学校の安全環境を整備する。
- ・介護拠点整備と福祉・医療の連携システムを構築する。
- ・中学校区を単位とした介護予防策の充実をはかる。
- ・全国最悪の乳児死亡率を改善するため、24時間体制での救急医療システムの構築、小児医療の確保に向けて取り組む。
- ・子育て世代の共働き増加に対応し、保育サービスの量的拡大と提供手段の多様化をはかり、保育所、学童保育の待機児童をゼロにする。
- ・彦根市立病院の経営を見直し、継続・発展可能な体質に改善する。
- ・障害者の就労支援を強化し、福祉施設から一般就労への移行者数を増加する。
- ・子ども、高齢者、障害者、外国人など自ら人権侵害を主張することが困難な方の人権を守る。

西村久子県議会議員から、下記のとおり『県政報告』がありました。

## 西村久子県政報告（第13号）

### 今日よりも明日

東大寺お水取りが終わり、比良八荒が近づいています。県庁の近くにある早咲きの桜がもう満開です。季節は「春」・・・でも経済不況の嵐はますます強く、私たちの周りにも職を失う人が出てきました。悲しいですね。先日、田原総一郎氏の時局講演を聞きました。与謝野金融担当大臣との懇談を通して、「時を読む」・・・興味深い話のあそそ分けをします。

いつになったらこの経済状況が改善されるのか？1-3月ひどい、4-6月もひどい、6月以降もよくならない・・・そこで20兆円位の補正予算を組む。何に使うのか、金融機関に流して企業倒産を防ぐ。日本の景気は内需拡大ではよくならない。やはり輸出。アメリカの景気がよくならなければ・・・（アメリカに購買力がつかねば）・・・それにはオバマ政策。5月ごろまでに有効政策が打ち出せるかにかかっている。金融破綻を抑止、不良債権を買い取るとも言っている。オバマ大統領は公共事業に太陽エネルギーをあげている。太陽光発電は夜はダメ、晴れているときのみ可能だ。電気を蓄電する必要がある。蓄電の技術、それは日本のサンヨーが世界一（今は松下が買収だが、）。世界は環境にやさしいエネルギーを求めている。ということは日本の電池の出番がある。

また、公共事業で鉄道をめぐらす。・・・必要な線路に最もふさわしい製鉄技術の世界一は日本の新日鉄（鉄道の必要は広大な中国も期待できる。）

中東においては、産油国でありながら油は外貨獲得に回すため自国電力を原子力に期待している。その発電技術の優れた国は日本、フランス・・・日本は少ない資源でいい製品を生み出す技術を持っている。海外で起こる公共事業に日本の製品を輸出する。自分だけがよくなるのではなく、世界全体がよくなるために今を持ちこたえよう。

アメリカは今秋、暮れ、遅ければ来春、株価は底打ち上向くだろう。悲観せず頑張ろう、ハイブリッドカーが主流を占める時代が来ている。ホンダやトヨタはアメリカの車に絶対負けない。・・・

日本の歳入50兆円、歳出80兆円その差30兆円が毎年借金で累積している。内訳として20兆円は国債、20兆円は地方交付税、20兆円は社会福祉費（毎年1兆円ずつ増え続けている。）20兆円は公務員月給や公共事業・・・これらから抑えられるものは、増え続ける社会福祉費だけだ。（国民も理解しなければ）

無利子国債の発行はどうか。無利子国債を買ってもらった人には相続税を安くする。また、退職金で無利子国債を買った人には減税します。それに利子はつかないけれど財産は相続できる。元本を残すことは可能だ。お金のある人からお金を出してもらう方法・・・・「なるほどなあー」と納得して聞いてきました。どう思われますか・・・。お先真っ暗でないこの先読み、力をあわせ苦境を乗り越えましょう。

### 滋賀県難病対策推進議員連盟結成

2,200人を超える難病患者の皆さんやそのご家族に精神的肉体的負担や経済的負担が重くのしかかり、医療や福祉、社会制度の谷間で苦しんであられる実態を学び、議会として、強力に難病対策を総合的に推進し、難病患者の福祉に寄与する目的で、昨秋滋賀県難病対策推進議員連盟が発足しました。現在47名の議員中38名で、滋賀県難病連絡協議会の皆様と勉強会や懇談会、情報交換会を実施、課題を整理しながら国や県をはじめ関係機関へ働きかけてあります。

国は難病として123疾患を指定しており、そのうち特定疾患医療受診証の45疾患に該当する滋賀県内の患者さんは、昨年末で6,619人あられ年々増加している状況にあります。厳しい県財政のもと滋賀難連への補助金がなくなる中、今回3点の要望を受けました。一つは命に係わること、二つは少しでも重症難病患者・家族が心落ち着いて過ごすための願い、そして三つ目に、難病連の活動を続けたい。・・・です。

### ・・・御協力の御願い・・・

県民の皆様に、今出来ることとして三つ目の願いへの協力を御願いします。難病患者の皆さんは「不要入れ歯リサイクル事業」に取り組まれ、活動資金としてあられます。昨年7月からの取り組みで、42万円の収益をユニセフや難病研究に寄付をされ、活動されています。御家庭で不要となった入れ歯を、歯科・口腔外科のある病院（滋賀成人病センター・長浜日赤・滋賀医大・川南歯科医院・小川歯科医院他）の回収ボックスへ御協力をお願いします。（西村久子事務所でも預かれます。）

送付先は、〒520-0044 大津市京町4丁目3-28 滋賀県厚生会館別館2階滋賀県難病連絡協議会 宛